

『みんなの笑顔のために』

『児童の笑顔あふれる学校』



本年度、新しく5名の教職員が赴任し、計30名の新体制で令和4年度がスタートしました。（裏面に職員写真を載せております。）本年度の児童数は、1年生55名、2年生44名、3年生49名、4年生51名、5年生48名、6年生44名、計291名です。

『みんなの笑顔のために』をキーワードとして、「命・人・心・物を大切にできる笑顔輝く子ども」の育成を目指して児童の笑顔あふれる学校をつくりたいと考えています。本年度も、保護者の皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

挨拶

このたびの異動により、三加和中学校より赴任しました校長の井上雄治と申します。

和水町高野（古閑区）在住で、菊水東小学校、菊水中学校出身であり、地元の学校に赴任できたことをうれしく思っております。また、平成28・29年度は菊水中学校の教頭として勤務していたこともあり、その時にお世話になった保護者の方もおられ、心強く感じている次第です。

私の専門教科は技術・家庭科（技術分野）であり、部活動ではバレーボールの指導を長くやってきました。これまで34年間、ずっと中学校での勤務でしたが、今回はじめて小学校の勤務となりました。戸惑うこともあるかもしれませんが、職員と力を合わせ、保護者の皆様方とともに、子どもたちの健全育成のために努力していく所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

4月8日（金）の始業式

先生方の話をきちんと聞くことができる素晴らしい子どもたちと出会うことができました。始業式で話した内容の一部を紹介します。

サーカスの象の話を知っていますか。サーカスの象は子どもの頃、逃げ出さないように地面にさした杭につながれます。逃げようとしても鎖で杭につながれているので動くことができません。すると、象は杭につながれたら動けないと思いこんでしまいます。実は、大人の象になると、力も子どもの頃より強くなりますので、地面に簡単にさした杭は、大人の象の力で引っ張れば簡単に抜けてしまうのだそうです。でも、子どもの頃、杭につながれたら動けないと思い込んでいるので、大人になっても、杭につながれたら大人しくなるのだそうです。力はあるのに、諦めてしまっているのですね。



みんなには、サーカスの象さんにはなってほしくありません。一回できなかつたからといって、諦めないでほしいのです。皆さんは、すごい能力を持っています。最初から「どうせ自分ではできない」と諦めるのではなく、自分はできると信じて、いろいろなことに挑戦してください。今日から1年後には、きっと素晴らしい菊水小学生在が育っていると信じています。

授業参観お世話になります。 4月16日（土）

- 授業参観 9:25～10:10
- PTA 総会（リモート）10:25～10:55
- 学級懇談会 10:55～11:35
- 専門部会（各部ごと）11:45～12:15

